

下肢切断者が作業療法士の支援を必要としています！

糖尿病等による下肢の壊疽から切断に至る患者は、全国で年間3千人いると推定されております。その多くが高齢者であり、地域生活に移行する際には、作業療法士による支援が必要となっております。本学会では、日本作業療法士協会との共催セッションもございます。

皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

The 11th Japanese Society of Limb Salvage & Podiatric Medicine

第11回 日本下肢救済・足病学会学術集会

2019年6月28日(金)・29日(土)

会場 神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場 他

会長 寺師 浩人 (神戸大学大学院医学研究科 形成外科学)

主催校: 神戸大学大学院医学研究科 形成外科学



歩行を守り、
生活を守る。

【下肢慢性創傷の予防・
リハビリテーション研究会】

当研究会は、多職種連携による下肢慢性創傷のリハビリテーションに関する教育・啓発、臨床研究の推進を目的として発足しました。

教育・啓発活動として医師、看護師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士の各リハビリテーション関連職種を対象として、日本下肢救済・足病学会学術集会におけるサテライト研究会として研究会開催、各関連職種の学会・団体におけるシンポジウム、講演、研修会の開催を行っております。

これらの教育・啓発活動を通して、下肢救済の診療に従事するセラピストのみならず、今後参画を予定しているセラピストへの情報発信も行っていますので、是非、ご参加ください。

リハビリテーション(OT)関連のセッション

シンポジウム 5

6月28日(金) 16:50~17:50 第4会場(神戸国際会議場 5F 501)

「生活を守るリハビリテーションの実際」

関連学会コラボレーションセッション 11

6月29日(土) 10:20~11:20 第2会場(神戸国際会議場 3F 国際会議室)

「下肢・足病患者の歩行を守り、生活を守る作業療法士の役割と今後の展開」

サテライト研究会 1

6月29日(土) 13:30~16:30 第4会場(神戸国際会議場 5F 501)

「第5回下肢慢性創傷の予防・リハビリテーション研究会

下肢慢性創傷のリハビリテーションの未来について考える。

—さらなる普及と生活機能への関わりについて—

【生涯教育ポイントについて】 下肢慢性創傷の予防・リハビリテーション研究会の参加
日本作業療法士協会 生涯教育基礎ポイント 1ポイントが取得できます。

【お問い合わせ】 下肢慢性創傷の予防・リハビリテーション研究会世話人 成田

【E-mail】 nariz2men@gmail.com

リハビリテーション（OT）関連のセッション

シンポジウム 5

6月28日（金） 16:50～17:50 第4会場（神戸国際会議場 5F 501）

「生活を護るリハビリテーションの実際」

- 座長 門野 邦彦 （南奈良総合医療センター 整形外科）
「生活を護るためのリハビリテーションの実際 1.医師の役割」 演者：佐藤 精一 （大分岡病院 創傷ケアセンター 形成外科）
「生活を護るためのリハビリテーションの実際 2.看護師の役割 免荷看護とは」 演者：松 久美 （大分岡病院 看護部）
「生活を護るリハビリテーションの実際 3.理学療法士の役割」 演者：次山 航平 （大分岡病院 総合リハビリテーション課）
「生活を護るリハビリテーションの実際 4.作業療法士の役割」 演者：加藤 恒一 （大分岡病院 総合リハビリテーション課）

関連学会コラボレーションセッション 11

6月29日（土） 10:20～11:20 第2会場（神戸国際会議場 3F 国際会議室）

「下肢・足病患者の歩行を守り、生活を護る作業療法士の役割と今後の展開」

- 司会：中村 春基 （日本作業療法士協会 会長）
「足病患者に対する作業療法の現況」 講師：高島 千敬 （広島都市学園大学健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻）
「当院の歩行を守り生活を護るためのリハビリテーション」 講師：古川 雅英 （大分岡病院 創傷ケアセンター 形成外科）
「下肢・足病患者の歩行を守り、生活を護る作業療法士の役割と今後の課題」 講師：加藤 恒一 （大分岡病院 総合リハビリテーション課）
「生活を護るためのリハビリテーションと看護」 講師：秋岡 貴子 （大分岡病院 看護部 師長）

サテライト研究会 1

6月29日（土） 13:30～16:30 第4会場（神戸国際会議場 5F 501）

「第5回下肢慢性創傷の予防・リハビリテーション研究会

下肢慢性創傷のリハビリテーションの未来について考える。

—さらなる普及と生活機能への関わりについて—

「下肢慢性創傷の予防・リハビリテーション研究会の活動について」 演者：河辺 信秀 （城西国際大学）

ブレインストーミング（シンポジウム）

「下肢慢性創傷のリハビリテーションが普及するために必要なこと—診療報酬について—」

座長：市岡 滋 （埼玉医科大学） 河辺 信秀 （城西国際大学）

演者・発言者：理学療法士 河辺 信秀 （城西国際大学）

演者・発言者：形成外科医 松本 健吾 （大分岡病院）

演者・発言者：作業療法士 高島 千敬 （広島学園大学）

症例検討

「下肢慢性創傷患者の生活機能への関わり」

座長：理学療法士 林 久恵 （星城大学） 義肢装具士 大平 吉夫 （日本フットケアサービス）

演者：医師 松本 健吾 （大分岡病院）

演者：作業療法士 加藤 恒一 （大分岡病院）

演者：ソーシャルワーカー 麻生 恵 （大分岡病院）

研究報告

座長：門野 邦彦 （南奈良総合医療センター）

演者：河辺 信秀 （城西国際大学）

演者：前重 伯壮 （神戸大学大学院）

実践教室

「解剖学・運動学を踏まえたストレッチング技術」

講師：理学療法士 大塚 未来子 （大分岡病院）

「小切断症例に対するフェルト・プラスタゾートを用いた簡易免荷の工夫」

講師：義肢装具士 名和 大輔 （日本フットケアサービス）